

図書館通信

市貝町立図書館

〒321-3423

栃木県芳賀郡市貝町市塙147

Tel 0285-68-4380

URL <https://www.library.ichikai.tochigi.jp/>



ホームページは
こちら



ツイッターでも
情報配信中！

市貝町立図書館
『いっとくん』
@ittokun_ichikai



9月のイベント

感染症対策のためサービスを制限しています。
サービスの変更・再開・イベントを中止する場合はホームページやtwitterで随時お知らせします。

●おでかけ図書館in道の駅サシバの里いちかい

日時：9月10日（土）10:00～14:00

場所：道の駅サシバの里いちかい交流センター内
会議研修室

内容：市貝図書館からの移動図書館です。道の駅イベント「新米まつり」にちなんで、米料理・家庭菜園など「おいしい本」をテーマに50冊程度展示します。利用者カードをお持ちの方はその場で貸出もできます。ぜひお越しください。

●ダンボの会のおはなし会

日時：9月25日（日）10:30～（50分程度）

内容：ボランティアによる絵本の読み聞かせです。
手遊び・ペープサートなどご家族で楽しめます。

対象：乳幼児～小学校低学年

※状況により人数制限あり

お問い合わせ：市貝図書館 ☎68-4380

★歴史民俗資料館のイベント

市貝町発掘速報展「仁王地遺跡展」

期間：9月17日（土）～10月30日（日）

※休館日は図書館に同じ

内容：昨年度発掘調査と整理報告が行われた仁王地遺跡の出土遺物を展示し、その成果を紹介します。

お問い合わせ：中央公民館 ☎68-0020



毎年1月に実施していた「図書館まつり」を今年は11月20日（日）に開催する予定です。皆さんで楽しめるイベントを計画！お楽しみに♪

★開館時間 9:30～19:00★

9月から通常の開館時間となります。

★連絡先メールアドレスについて お知らせとお願い★

現在システムの都合により、Gメールあてのメールが届きにくくなっています。図書館からの連絡先にGメールを登録いただいている方は、お手数ですが他のメールアドレスに変更していただけますようお願いいたします。

ご不便をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

その他ご不明点などございましたら、スタッフまでお気軽にお声がけください。



★蔵書点検のお知らせ★

10月4日（火）～10月7日（金）

の期間は蔵書点検のため休館となります。

下記カレンダーをご参照ください。

図書館カレンダー

9月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30※	

■…休館日 ※月末資料整理日

10月						
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

★ぬいぐるみおとまり会

参加者募集★

自宅のぬいぐるみが図書館におとまりします。返却時にはぬいぐるみが図書館でお仕事をしたり冒険したりする様子をカードにしてプレゼントします。

ぬいぐるみ預かり期間：

10月1日（土）～10月2日（日）

ぬいぐるみ返却期間：10月8日（土）～

※長期お預かりしても大丈夫なぬいぐるみをお持ちください。

定員：8名（ぬいぐるみはひとり1体のみ）

申込方法：カウンター※電話不可

申込期間：9月1日（木）～

※定員になり次第終了



★読書会 参加者募集★

テキスト本をゆっくり読んでいただき、感想などを自由に語り合う「読書会」の参加者を募集します。（テキストは図書館で用意します）

日時：11月3日（木・祝）10:00～11:30

定員：5名 ※希望者が2名以下の場合は中止

対象：読書好きの一般の方（利用者カードがある方）

申込方法：カウンター・お電話

申込期間：9月11日（日）まで

使用テキスト

「まほろ駅前多田便利軒」

三浦 しをん//著（文藝春秋）

「麒麟の翼」

東野 圭吾//著（講談社）

「おらおらでひとりいぐも」

若竹 千佐子//著（河出書房新社）

のいずれか1冊

「月・星の本」

「星空を見上げて365日 一日一話の星空案内」

藤井 旭//著

（誠文堂新光社）

自分の誕生星座を探したことはありますか？

誕生星座が見えるのは、誕生月から3～4か月ほど前になるそうです。

この本は、1年間365日その日に見える星座を紹介しています。星の写真やまつわる話、神話なども書かれているので星を楽しむヒントが盛りだくさんです。

これからの季節、秋から冬にかけては空気が澄んでくるので星が見つけやすくなります。お気に入りのスポットで夜空を見上げて誕生星座を探してみたいかがでしょうか。

（スタッフ：双子パンダ）

「宇宙のかけら」

竹内 薫//著

（講談社）

宇宙は、果てしなく不可解で難しく、そして、人や動物はどこからきて、どこへいくのか…。命の循環とその神秘は、宇宙のちりの如くどこまでも続いています。

この本では、宇宙が生まれて、どんどん大きくなって、銀河や星や惑星や穴ができて、最後に宇宙の鼓動が止まるまでを、宇宙の研究をしているカオルさんと飼猫のカロエが、のんびり話しをする中でやさしくひも解く様に紹介していきます。

まずは難しい事は抜きにして、秋の夜長をゆったりと、カオルさんとカロエの声に耳を傾けて、壮大な宇宙のかけらを手に取る様に読んでみてください。

（スタッフ：ぴっぴ日和）

スタッフのおすすめ

スタッフのおすすめ

しゅうちゃん の ひ とりごと



昔、ミミズにおしっこをかけるとバチが当たって、おちんちんが腫れるといわれました。「このバチあたりが！」と叱られ、きれいに洗ってやれば腫れがひくからと言って、ミミズを持ってきて洗ってやると腫れがひいたという話が残っていました。子供心にもそのミミズは俺がおしっこをかけたミミズじゃないと思って「つべこべ言うな！」と叱られたものでした。納得がいくわけはありません。片田舎で伝えられていた話ですが、要は誰が見ていなくてもお天道様が見ているので、隠すことはできないんだよという教えでした。もっともよく「バチが当たる」と親から言われたのは食事の時だったような気がします。食べ物には自然の恵み、天の理、自然の摂理にのっとって、お天道様が見ているところでお米が実り、野菜が育ち、魚が泳ぐ、だから必ず「いただきます」とあいさつをして命をいただくことへのお礼を言ってから食べたのです。最近は食卓を囲んでも「もったいない」「ばちがたる」と言ってあげる人もいなく「いただきます」と言えない子も増えていると聞くのも納得できる気がします。子供たちにお天道様のことを教えてあげられるのは大人だけです。ちゃんと役割を果たさないと本当にバチが当たるかもしれません。